

## 競技注意事項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
2. 招集について（招集所は第2ゲート、1500mスタート地点後方倉庫内）
  - (1) 競技者は招集完了時刻までに招集所に集まり、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。ただし、砲丸投は本競技場で練習を行うため、現地招集とする。
  - (2) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき競技	競技開始40分前	競技開始30分前
跳躍競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

- ※ 競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、チェックを受けること。
- (3) 招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。
  - (4) リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前までに、招集所に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備する。
  - (5) 同時に2種目以上出場する競技者は、2種目同時出場届けを競技者係に提出する。
3. 番組編成について（レーン順・試技順）  
トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

4. トラック競技について  
スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
5. アスリートビブスについて
  - (1) アスリートビブスの番号は、2026年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。
  - (2) 跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。
6. 競技場は全天候舗装である。競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。砲丸投においては、シューズに関する競技規則の適用対象から除外する。
7. ハードル競技のインターバル等については下表の通りとする。

性別	種目	ハードルの高さ	インターバル			ハードル台数
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	
男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

8. 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目・区分		種別	練習	試技
走高跳	男子	共通	1m35	1m40から5cmずつ、180cmからは3cmずつ
	女子	共通	1m15	1m20から5cm、1m45からは3cmずつ
棒高跳		共通	2m00	2m10から10cmずつ

※ バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

9. 三段跳の踏切板は9mとするが、選手の記録によっては変更がある。
10. 練習は、AKAKIRI FIELD、雨天練習場とする。ただし、砲丸投は競技開始60分前から本競技場、投てきピットで行うこと。（投てき場での練習を禁止する。）出場する競技者は、第1ゲートから入場し、投てき審判員の指示で、フィールドに入ること。走幅跳、三段跳については、本競技場内でのフリー練習は実施せず、公式練習のみとする。練習が必要な選手は、AKAKIRI FIELD に設置された専用エリアで事前に練習を行うこと。
11. 使用器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
12. 投てき種目の投てき物の重量は、男子が砲丸5.0kg、女子が砲丸2.72kgとする。
13. リレーのユニホームはチームで統一すること。ただし、デザイン、配色が同一であれば問題はない。
14. 全競技終了後、閉会式を行う。
15. 本大会で標準記録に到達した者は、全日本中学校陸上競技選手権大会に出場できる。
16. 3位入賞した選手は係の指示に従い、表彰の場所に速やかに移動すること。
17. 更衣室は、更衣の利用のみとする。更衣は速やかに行い退出すること。
18. 競技結果等については、宮崎県中学校陸上競技専門部 HP(<https://mzc.meet7.org/live/index.html>) に掲載する。